

2022年3月期第1四半期決算の概要

2021年8月4日
東レ株式会社

目次

I . 2022年3月期第1四半期決算の概要	3
II . 2022年3月期連結業績見通し	18
III . 参考資料	22

I . 2022年3月期第1四半期決算の概要

2022年3月期第1四半期連結損益概要

億円

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
売上収益	3,976	5,137	+1,160 (+29.2%)
事業利益	125	361	+236 (+189.0%)
(売上収益事業利益率)	3.1%	7.0%	+3.9 ポイント
非経常項目	▲ 30	▲ 2	+28
金融収益及び費用	5	8	+3
持分法による投資利益	30	43	+13
税引前四半期利益	130	409	+279 (+215.2%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	95	297	+203 (+214.4%)

為替レート	(21/3 1Q)	(22/3 1Q)
<円/US\$> 期中平均	107.6	109.5
	107.7	110.6
<円/ユーロ> 期中平均	118.5	132.0
	121.1	131.6

非經常項目

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	增減
固定資産売却益	1	4	+3
固定資産処分損	▲ 9	▲ 6	+4
減損損失	▲ 22	▲ 0	+22
非經常項目	▲ 30	▲ 2	+28

億円

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	21年3月末	21年6月末	増減
資産合計	28,488	28,646	+157
流動資産	11,810	12,178	+367
有形固定資産	9,984	9,931	-52
その他	6,694	6,537	-157
負債合計	15,266	15,089	-177
流動負債	6,814	6,593	-221
非流動負債	8,452	8,496	+44
資本合計	13,223	13,557	+334
自己資本*	12,379	12,699	+320
自己資本比率*	43.5%	44.3%	+0.9ポイント
有利子負債残高	9,739	9,620	-120
D/Eレシオ	0.79	0.76	-0.03

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	595	478	-117
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 343	▲ 217	+126
フリー・キャッシュ・フロー	252	261	+9

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

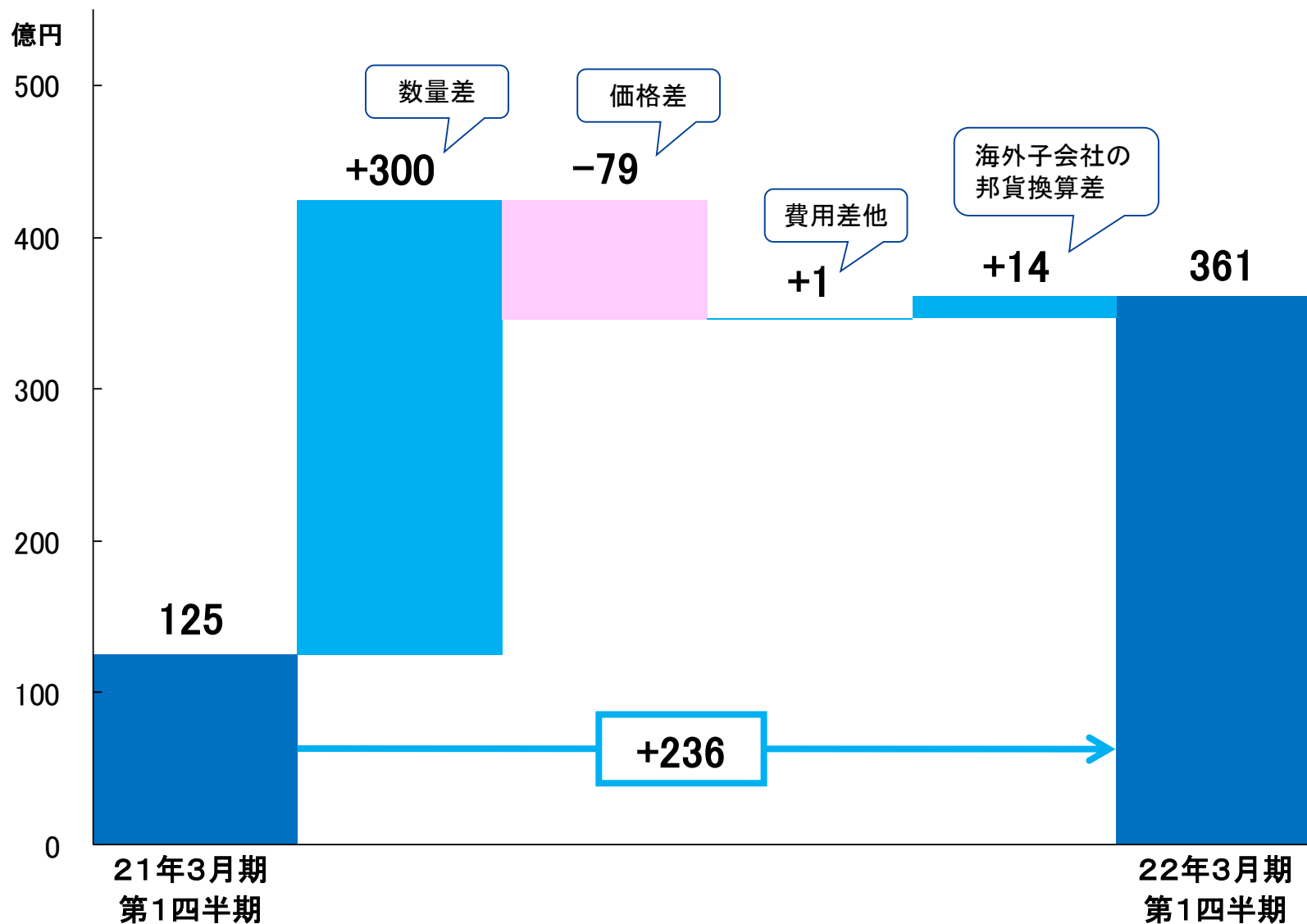
億円

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
設備投資額	292	176	-117
東レ	25	25	-1
連結子会社	267	151	-116
減価償却費	293	306	+13
東レ	96	98	+2
連結子会社	197	208	+11
研究開発費	150	145	-6
東レ	112	107	-5
連結子会社	38	37	-1

主な設備投資案件

Toray Membrane (Foshan) Co.,Ltd.	: RO製膜生産設備
Toray Industries Hungary Kft.	: バッテリーセパレータフィルム“セティーラ [®] ”生産設備
Alcantara S.p.A.	: “Alcantara [®] ”生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減	
売上 収益	繊維	1,450	1,842	+392	(+27.0%)
	機能化成品	1,556	2,226	+670	(+43.0%)
	炭素繊維複合材料	454	485	+31	(+6.9%)
	環境・エンジニアリング	372	437	+65	(+17.6%)
	ライフサイエンス	116	115	-1	(-0.8%)
	その他	29	32	+3	(+11.4%)
	合計	3,976	5,137	+1,160	(+29.2%)
事業 利益	繊維	72	118	+46	(+63.4%)
	機能化成品	81	279	+198	(+244.2%)
	炭素繊維複合材料	17	▲ 21	-38	(-)
	環境・エンジニアリング	8	34	+26	(+316.6%)
	ライフサイエンス	1	2	+1	(+193.4%)
	その他	1	2	+1	(+43.6%)
	調整額	▲ 55	▲ 53	+3	
	合計	125	361	+236	(+189.0%)

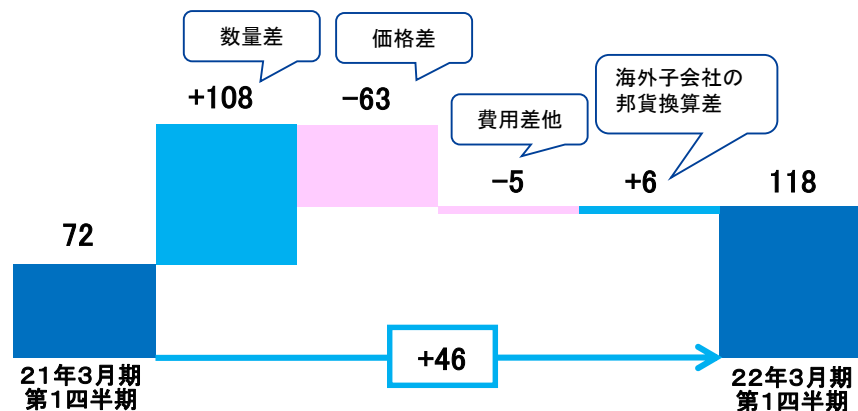
セグメント別業績(繊維)

億円

		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	329	417	+88 (+26.8%)
	国内	822	905	+83 (+10.1%)
	海外	853	1,262	+409 (+47.9%)
	修正	▲ 554	▲ 742	-188
	計	1,450	1,842	+392 (+27.0%)
事業利益	東レ	12	30	+18 (+151.8%)
	国内	12	23	+11 (+95.5%)
	海外	55	73	+18 (+33.5%)
	修正	▲ 6	▲ 8	-2
	計	72	118	+46 (+63.4%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

■全般

国内外ともに需要の回復が見られた。

■衣料用途

引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた用途があるものの、スポーツ・アウトドア用途が好調に推移。

■産業用途

自動車関連用途が回復し、数量を伸ばした。

<トピックス>

・ 21年5月:

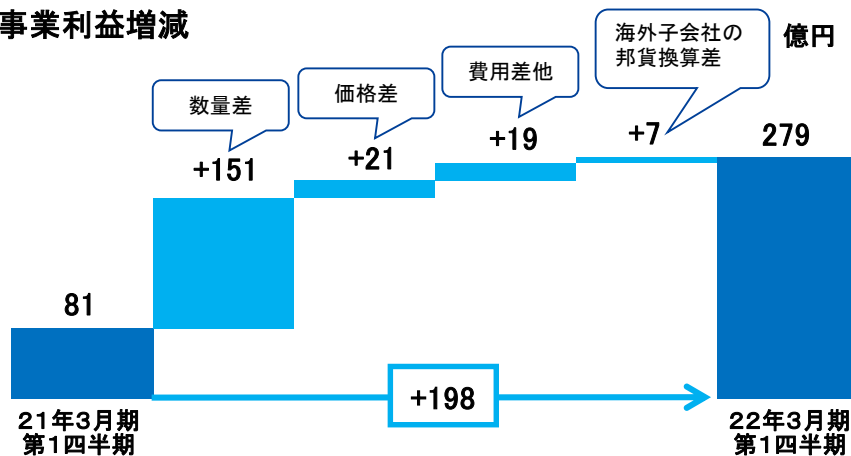
使い切り防護服LIVMOA®高通気タイプにおいて、生地蒸発熱抵抗試験を実施し、汎用的な防護服と比較し作業時に熱ストレスを軽減する効果を持つことを確認。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	462	646	+184 (+39.8%)
	国内	889	1,184	+295 (+33.2%)
	海外	962	1,527	+564 (+58.7%)
	修正	▲ 757	▲ 1,131	-373
	計	1,556	2,226	+670 (+43.0%)
事業利益	東レ	19	81	+62 (+322.7%)
	国内	11	57	+46 (+419.2%)
	海外	55	144	+89 (+162.1%)
	修正	▲ 4	▲ 3	+1
	計	81	279	+198 (+244.2%)

事業利益増減



< 概況 >

■樹脂事業

コロナ禍の反動と自動車メーカーの稼働及び中国経済の回復から、需要が好調に推移。

■ケミカル事業

基礎原料の市況が回復した。

■フィルム事業

リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムにおいて車載用途が回復したほか、ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連が好調に推移。

■電子情報材料事業

有機EL関連の需要が増加。

<トピックス>

・ 21年4月:

非破壊検査に用いるX線シンチレータパネルの耐久性を大幅に向上する新技術を開発。本技術を適用したシンチレータパネルをX線検査機器に用いることで、X線検査のランニングコストを大きく低減することが可能。滋賀事業場にて2021年7月から本格生産を開始。

・ 21年5月:

三島工場にフィルム開発専用機を導入し本格稼働を開始。高精度ナノ積層、ナノアロイ®、高機能ナノコーティングなどの要素技術ならびに多様なフィルム設計技術を適用することで、幅広いフィルム開発への対応を実現。

機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	597	26%	1,045	31%	+75%
フィルム	694	30%	832	25%	+20%
電子情報材料	146	6%	193	6%	+32%
商事他	877	38%	1,286	38%	+47%
修正	▲ 757	—	▲ 1,131	—	—
合計	1,556		2,226		+43%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	東レ	206	156	-51	(-24.5%)
	国内	141	113	-28	(-19.9%)
	海外	351	437	+86	(+24.7%)
	修正	▲ 244	▲ 220	+24	
	計	454	485	+31	(+6.9%)
事業利益	東レ	16	▲ 6	-22	(-)
	国内	5	2	-3	(-65.2%)
	海外	▲ 1	▲ 8	-7	(-)
	修正	▲ 3	▲ 9	-6	
	計	17	▲ 21	-38	(-)

< 概況 >

■全般

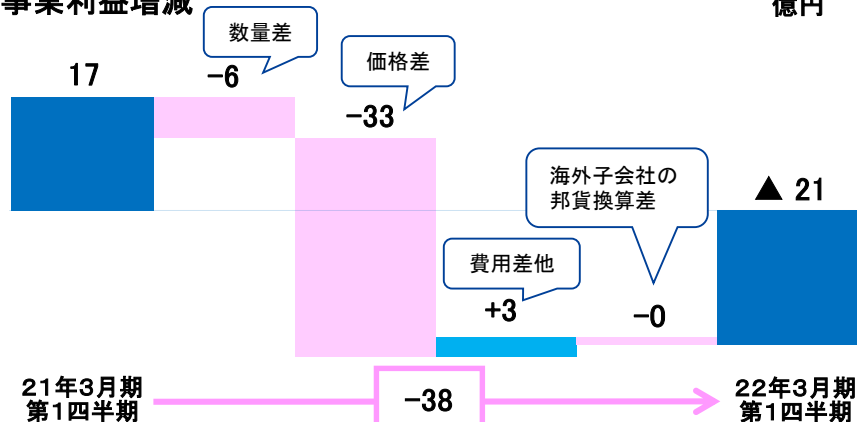
一般産業用途では、風力発電翼用途やスポーツ用途が好調に推移したが、航空宇宙用途において、民間旅客機のビルドレートが減少した影響を受けた。また、原料価格上昇の影響を受けた。

<トピックス>

・ 21年5月：
放熱性に優れる炭素繊維複合材料を創出。軽量性に加え、放熱性が求められる次世代モビリティ用途、モバイル電子機器用途、ウェアラブル端末用途への適用を期待。

事業利益増減

億円



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	174	38%	95	20%	-45%
スポーツ	32	7%	61	12%	+92%
一般産業	249	55%	329	68%	+32%
合計	454		485		+7%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	59	86	+26 (+44.2%)
	国内	419	440	+22 (+5.1%)
	海外	91	103	+11 (+12.4%)
	修正	▲ 198	▲ 192	+6
	計	372	437	+65 (+17.6%)
事業利益	東レ	2	2	-0 (-16.2%)
	国内	▲ 8	15	+23 (-)
	海外	15	17	+3 (+19.5%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+1
	計	8	34	+26 (+316.6%)

< 概況 >

■水処理事業

一部地域で新型コロナウイルスの影響があったものの、逆浸透膜などの需要が堅調に推移。

■国内子会社

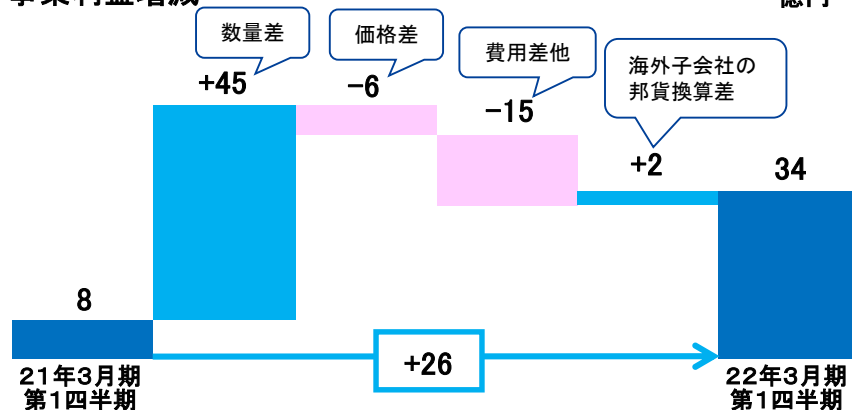
エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連装置の出荷が増加。

<トピックス>

・ 21年5月：
水栓のデザインや機能を選ばずにアンダーシンク浄水器の取付けが可能な新浄水システム「トレビーノ® ブランチ」を、家庭用浄水器「トレビーノ®」シリーズから発売。

事業利益増減

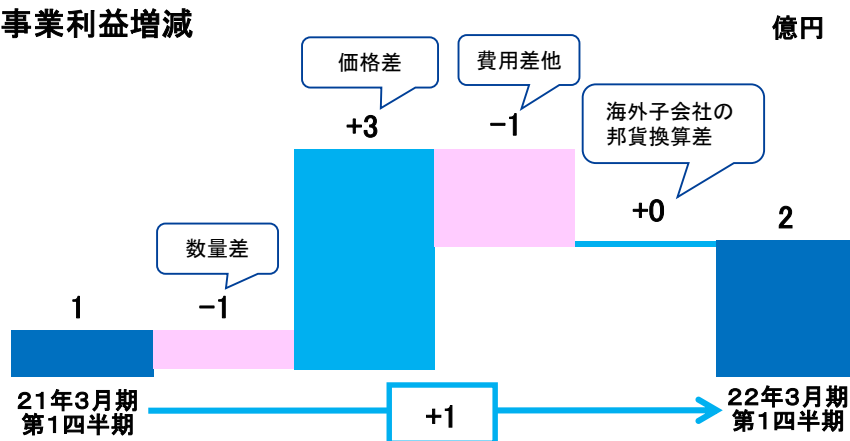
億円



セグメント別業績(ライフサイエンス)

		億円		
		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	61	52	-8 (-13.7%)
	国内	90	94	+4 (+4.6%)
	海外	29	26	-2 (-7.2%)
	修正	▲ 64	▲ 59	+5
	計	116	115	-1 (-0.8%)
事業利益	東レ	▲ 1	▲ 3	-2 (-)
	国内	2	4	+2 (+142.6%)
	海外	1	1	+0 (+19.4%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+0
	計	1	2	+1 (+193.4%)

事業利益増減



< 概況 >

■ 医薬事業

経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けた。

■ 医療機器事業

血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に推移。

*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。

<トピックス>

・ 21年4月：
患者の負担軽減と、医療現場におけるより正確なアレルギー診断の実現に貢献する高感度、高精度な多項目アレルギー検査用バイオチップを開発。今後、アレルギー患者検体を用いた大規模検証を行い、早期の体外診断用医薬品の認証申請を目指す。

主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減	
東レインターナショナル	1,111	1,292	+182	19	27	+8	
東レエンジニアリング	175	223	+47	▲ 6	11	+17	
東レ建設	55	73	+18	▲ 4	▲ 1	+3	
東レフィルム加工	93	93	+1	8	10	+3	
在東南アジア・子会社	繊維	187	299	+112	▲ 12	3	+15
	機能化成品	154	322	+168	14	73	+59
	その他	0	2	+1	0	0	+0
	計	341	623	+282	2	76	+74
在中国・子会社	繊維	401	556	+155	49	48	-0
	機能化成品	189	294	+105	10	16	+6
	その他	90	99	+10	8	8	+0
	計	680	949	+269	67	72	+5
在韩国・子会社	繊維	182	231	+49	28	16	-11
	機能化成品	312	395	+84	45	54	+9
	その他	50	80	+30	8	9	+1
	計	543	706	+163	81	79	-1

Ⅱ. 2022年3月期連結業績見通し

2022年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

国内外の経済は、米国での追加財政支出や金融緩和の継続、および新型コロナウイルスのワクチン普及を背景に回復を続けると見ている。ただし、新興国などではワクチン接種率が依然低いことや、変異株の感染再拡大に伴う経済活動の制限など、先行きには不透明感が強いため、正常化への過程は緩やかなペースになることを前提としている。

億円

		21年3月期 実績	22年3月期 見通し	増減	期初見通し*	期初見通し との差異
売上収益	上期	8,561	10,650	+2,089 (+24.4%)	10,050	+600
	下期	10,275	11,850	+1,575 (+15.3%)	11,150	+700
	通期	18,836	22,500	+3,664 (+19.5%)	21,200	+1,300
事業利益	上期	341	600	+259 (+76.0%)	500	+100
	下期	562	700	+138 (+24.6%)	700	—
	通期	903	1,300	+397 (+44.0%)	1,200	+100
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	45	450	+405 (+907.6%)	350	+100
	下期	413	450	+37 (+8.9%)	450	—
	通期	458	900	+442 (+96.5%)	800	+100
基本的1株当たり 当期利益	上期	2.79円	28.11円			
	下期	25.82円	28.11円			
	通期	28.61円	56.23円			
1株当たり配当金	上期	4.50円	8.00円			
	下期	4.50円	8.00円			
	通期	9.00円	16.00円			
配当性向	通期	31%	28%			

為替レート的前提
105円/US\$

* 期初見通し：2021年5月13日公表値

セグメント別連結業績見通し

億円

		21年3月期実績			22年3月期見通し			増減			期初見通しとの差異*		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	3,302	3,890	7,192	4,000	4,650	8,650	+698	+760	+1,458	+150	+350	+500
	機能化成品	3,273	3,931	7,204	4,400	4,550	8,950	+1,127	+619	+1,746	+450	+350	+800
	炭素繊維複合材料	893	936	1,829	1,000	1,130	2,130	+107	+194	+301	—	—	—
	環境・エンジニアリング	782	1,153	1,935	930	1,150	2,080	+148	-3	+145	—	—	—
	ライフサイエンス	247	283	530	250	290	540	+3	+7	+10	—	—	—
	その他	63	82	146	70	80	150	+7	-2	+4	—	—	—
	合計	8,561	10,275	18,836	10,650	11,850	22,500	+2,089	+1,575	+3,664	+600	+700	+1,300
事業利益	繊維	158	208	366	240	300	540	+82	+92	+174	-20	+10	-10
	機能化成品	241	429	670	480	380	860	+239	-49	+190	+120	-20	+100
	炭素繊維複合材料	▲ 3	▲ 72	▲ 75	▲ 50	20	▲ 30	-47	+92	+45	—	—	—
	環境・エンジニアリング	40	106	145	50	120	170	+10	+14	+25	+10	—	+10
	ライフサイエンス	8	5	13	0	0	0	-8	-5	-13	—	—	—
	その他	6	24	29	5	15	20	-1	-9	-9	—	—	—
	調整額	▲ 109	▲ 137	▲ 246	▲ 125	▲ 135	▲ 260	-16	+2	-14	-10	+10	—
	合計	341	562	903	600	700	1,300	+259	+138	+397	+100	—	+100

* 期初見通し: 2021年5月13日公表値

セグメント別事業利益の期初見通しとの差異

セグメント	通期事業利益(億円) 期初見通し*→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	550→540 (-10)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、アウトドア、スポーツウェア向けの需要回復を見込む。 ・産業用途は、エアバッグ用基布や人工皮革等の自動車用途を中心に需要の回復を見込む。 ・原料価格上昇や物流コスト上昇の影響を受ける見込み。
機能化成品	760→860 (+100)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂事業では、需要は全般的に好調に推移する見込み。ABS樹脂は、上期にスプレッドが期初見通しよりも堅調に推移する見込み。 ・ケミカル事業では、上期に基礎原料の市況が堅調に推移する見込み。 ・フィルム事業では、MLCC離型フィルム等の電子部品用途や光学用途が堅調に推移する見込み。
炭素繊維 複合材料	▲30→▲30 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・期初見通し通り。
環境・ エンジニアリング	160→170 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理事業では、グローバルでのRO膜の出荷拡大を見込む。
ライフサイエンス	0→0 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・期初見通し通り。
その他	20→20 (±0)	
調整額	▲260→▲260 (±0)	
合計	1,200→1,300 (+100)	

* 期初見通し: 2021年5月13日公表値

III. 參考資料

セグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
繊維	1,450	1,852	2,061	1,829	7,192	1,842
機能化成品	1,556	1,717	1,926	2,005	7,204	2,226
炭素繊維複合材料	454	439	456	479	1,829	485
環境・エンジニアリング	372	410	464	689	1,935	437
ライフサイエンス	116	131	137	146	530	115
その他	29	34	37	45	146	32
合計	3,976	4,584	5,081	5,194	18,836	5,137

セグメント別四半期事業利益推移

億円

	21年3月期					22年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
繊維	72	86	122	86	366	118
機能化成品	81	160	236	193	670	279
炭素繊維複合材料	17	▲ 20	▲ 34	▲ 38	▲ 75	▲ 21
環境・エンジニアリング	8	32	40	65	145	34
ライフサイエンス	1	8	9	▲ 5	13	2
その他	1	4	12	12	29	2
調整額	▲ 55	▲ 53	▲ 56	▲ 81	▲ 246	▲ 53
合計	125	216	329	233	903	361

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
樹脂・ケミカル	597	719	872	904	3,092	1,045
フィルム	694	751	785	801	3,031	832
電子情報材料	146	176	176	180	678	193
商事他	877	868	1,045	1,103	3,893	1,286
修正	▲ 757	▲ 797	▲ 952	▲ 983	▲ 3,489	▲ 1,131
合計	1,556	1,717	1,926	2,005	7,204	2,226

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
航空宇宙	174	161	148	116	600	95
スポーツ	32	37	41	46	155	61
一般産業	249	241	267	317	1,074	329
合計	454	439	456	479	1,829	485

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

		21年3月期					22年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		1,111	1,227	1,413	1,244	4,995	1,292
東レエンジニアリング		175	201	244	417	1,037	223
東レ建設		55	97	131	118	400	73
東レフィルム加工		93	85	92	89	359	93
在東南アジア・ 子会社	繊維	187	236	275	302	1,000	299
	機能化成品	154	205	246	268	872	322
	その他	0	0	0	0	1	2
	計	341	441	522	570	1,874	623
在中国・ 子会社	繊維	401	561	611	411	1,984	556
	機能化成品	189	212	251	249	901	294
	その他	90	89	98	77	354	99
	計	680	862	961	737	3,239	949
在韩国・ 子会社	繊維	182	194	199	222	796	231
	機能化成品	312	371	398	393	1,474	395
	その他	50	52	59	67	227	80
	計	543	617	656	681	2,497	706

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		21年3月期					22年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		19	33	33	25	109	27
東レエンジニアリング		▲ 6	▲ 0	13	35	41	11
東レ建設		▲ 4	7	7	1	11	▲ 1
東レフィルム加工		8	10	11	12	41	10
在東南アジア・ 子会社	繊維	▲ 12	▲ 7	▲ 7	4	▲ 23	3
	機能化成品	14	42	63	64	183	73
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	2	35	56	67	160	76
在中国・ 子会社	繊維	49	50	45	24	168	48
	機能化成品	10	10	15	15	50	16
	その他	8	8	9	5	31	8
	計	67	68	69	45	249	72
在韩国・ 子会社	繊維	28	24	16	1	68	16
	機能化成品	45	58	56	37	195	54
	その他	8	7	6	7	29	9
	計	81	89	77	45	292	79

ESGに関する社外からの評価

■ CDP



WATER

2020年12月
Water Security: A
Climate Change: B

■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

Sustainability Yearbook 2021年2月
Member 2021

S&P Global

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

2020年11月

「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」のAsia Pacific



FTSE4Good
2021年6月
「FTSE4Good Index Series」

2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2020年7月
「MSCI ESG Leaders Indexes」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry

